



いきいき東っ子

保護者様 東川登小学校便り

第32号

教育目標：「生き抜く力」の育成（「やさしく かしこく たくましく」）

令和3年12月7日(火) 文責：校長 橋本 良子



東川登小 HomePage

佐賀県学習状況調査と標準学力検査

12月1日(水)に学力テストがありました。1, 2, 3年生は、標準学力調査(CRT)4, 5, 6年生は佐賀県の調査で国語と算数に挑戦しました。6年生は、理科と社会も加えた4教科で行われました。1年生から6年生まで、みんな真剣な様子で問題に取り組んでいました。このテストで測ることができる学力は、学力のすべてではありませんが、学力の大切な要素を含んでいることには間違ひありません。「勉強がわかるようになりたい。」というのはすべての子どもたちの願いです。学校は、わかる授業に全力を傾け、この学力テストの結果を生かすことで、更なる学力向上を図っていきます。



人権集会

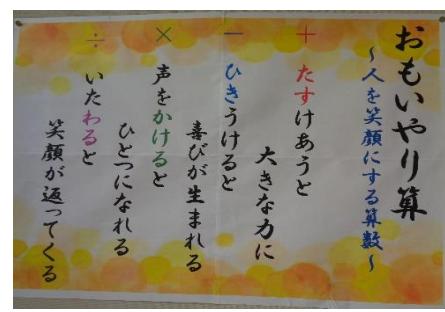
3日(金)に人権集会がありました。運営委員会の司会進行で、1, 2, 3年生のなかよし合言葉や4, 5, 6年生の人権標語の発表がありました。また、6年生は、長崎の修学旅行で学んだ平和学習のまとめとして自分の考えたことの作文を読んでくれました。友だちのことや自分たちの生活のことについてしっかり考えることができた1時間でした。



【多目的室で合言葉や標語、作文を発表してくれました】



【教室では真剣に発表を聞いていました】



【紹介したおもいやり算を3年生が教室に掲示してくれていました】

集会後は、一人一人感想を書きました。各学年の友だちの感想を紹介します。

- おともだちをだいじにする。おともだちにやさしくする。むしをしないではなしをきいてあげる。ともだちがないていたらだいじょうぶ? とこえをかけてあげます。(1年生)
- なかよしあいことばかいえてうれしかったです。せんそうのことがわかったのでこれからけんかをしないようにしたいです。これから思いやり算をつかっていきたいです。(2年生)
- 人権とは、だれもが生まれながらにもっている「自分らしく生きる権利」のことだとわかりました。心にのこったことが「思いやり算」でした。一人一人の思いやりをふかめる大切な言葉だというのがよく伝わりました。この言葉をいつまでもおぼえておきたいです。(3年生)
- 人権集会であらためて友だちや家族を大切にしようと思いました。ぼくときみだけが仲よくしていつも一人ぼっちの人かいいるかもしれない。その時はやさしく声をかけようと思いました。戦争いけん者があなたがもう10年ぐらいだったら少なくなるから戦争のごわさをこれから生まれてくる子にうけついでいきたいと思いました。(4年生)
- 私は人の人権を守るようなぞん在にならないなと思いました。人権標語の「悪口は相手も自分もきずつける」と「感せん者おいつめるのは正義じゃない」というのがいいなと思いました。戦争の話でこれから戦争を体験している人は、ほほいなくなるかもしれないから私たちが戦争はこの世に存在してはいけないものだとこれから生まれてくる子に教えてあげたいです。これから思いやり算を行動にうつしていきたいと思いました。(5年生)
- 自分も友だちも大切にすることが大事だと思いました。人のいやがる言葉ではなくやさしい言葉を伝える、言うことが大切だと思いました。思いやり算、たすける、ひきうける、声をかける、いたわるその4つを意識して言葉だけではなく行動であらわすことが一番大切だと思います。(6年生)

10日(金)は、授業参観・懇談会です。またお弁当の日です。どうぞよろしくお願いします。